

ランタンづくり

懐中電灯は部屋全体を明るくすることが難しく、食事など日常生活に必要な明かりとするのには不向きです。

停電時の対策には LED ランタンを備蓄しておくことが有効ですが、必要な数を確保できない場合に、懐中電灯やスマートフォンのライトにひと工夫することで、部屋を明るく照らすことができます。

停電対策にもぜひ、覚えておきましょう

MENU

【 STEP 1 】

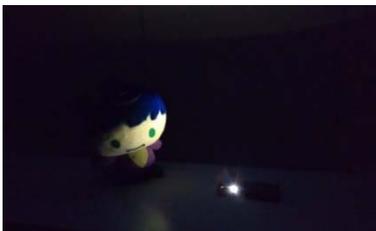
LED懐中電灯、スマートフォンを使ったランタンづくり

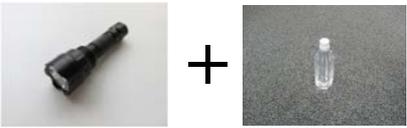
【 STEP 2 】

空き缶を使ったランタンづくり

【STEP1】LED懐中電灯、スマートフォンを使ったランタンづくり

LED懐中電灯やスマートフォンに身近なものを組み合わせてランタンを作ってみよう！

Before	
 <p>LED 懐中電灯</p>	 <p>スマートフォン</p>
 <p>明るいけど・・・ 光をもっと広げたい・・・</p>	 <p>手元だけ・・・生活するにはきびしいかも</p>

After	
【Challenge 1】 LED 懐中電灯 + ビニール袋（半透明）	
	 <p>テーブル周囲を照らせるくらい光が広がった</p>
【Challenge 2】 LED 懐中電灯 + ビニール袋（白色）	
	 <p>半透明と同じくらいの広がり方だけど光が落ち着いた感じになった</p>
【Challenge 3】 LED 懐中電灯 + 水入りペットボトル（透明）	
	 <p>部屋(12畳程度)全体に光が広がった！</p>

【Challenge4】	LED 懐中電灯 + 水入りペットボトル（白色）			<p>蛍光灯のような 光りかた！ やはり部屋（12 畳程度）全体を明 るくできた</p>
【Challenge5】	スマートフォンのライト + ビニール袋（半透明）			<p>スマホを中心に ほんやり光が広 がる程度</p>
【Challenge6】	スマートフォンのライト + ビニール袋（白色）			<p>半透明と同じく らいの広がり方 だけど白い光が 明るく感じる</p>
【Challenge7】	スマートフォンのライト + 水入りペットボトル（透明）			<p>ビニール袋に比 べるとテーブル 周囲を照らせる くらい光が広が っている。</p>
【Challenge8】	スマートフォンのライト + 水入りペットボトル（白）			<p>透明よりも落ち 着いた光で、食事 くらいなら十分 な明るさ</p>

他にも色のついた瓶や袋など、身近なものでいろいろチャレンジしてみよう！！

【STEP2】空き缶を使ったランタンづくり

缶に好きな絵をかいて穴をあけるだけと、作り方はとても簡単なので、子どもたちも一緒に楽しむことができます。

準備するもの

- 空き缶
- ペン、マジック
- 穴をあけるためのもの
(画びょう、カッター、ドリルなど)
- 缶切り
- 光源
(固形燃料、ろうそく、LED ライトなど)



●つくりかた

- ① 缶に好きなデザインを描きます



- ② 描いた線に画びょうなどで穴をあけます
く手をケガしないように注意しましょう。>



- ③ 缶の上ぶたを缶切りで取り除きます
く切り口がギザギザになるので手を切らないよう注意しましょう。>



- ④ 暗い場所でどのように光るか観察してみましょう
固形燃料やろうそく、LED ライトなどを缶の中に入れて灯かりをつけてみましょう。

※固形燃料やろうそくなどを使用すると熱で缶が熱くなることがあります。やけどしないよう、缶を持つときは手袋などをしましょう。
また、火をつける前に、近くに燃え移りやすいものが置いていないか、周囲の安全を確認しましょう。



慣れてきたら難しいデザインに挑戦して世界に一つだけのランタンを作ってみましょう。

